

ご提案:

「英語教育」と「グローバル教育」の
コラボレーション

～日本人に真の国際競争力を持ってもらうために

(株)グローバル教育 代表

渥美育子

2022年8月

コラボは時代の要請

- 世界は、冷戦体制崩壊(1990年代初め)をきっかけに、国際時代からグローバル時代へ。日本はグローバル化に失敗。国際教育(英語教育+留学)がまだ主流。時代にあった教育への転換を一刻も早く
- コロナをへて、本物の価値観志向へ。日本は英会話学校が異常に多いのに、日本人は英語をしゃべれないことへの批判が。
例:藤原正彦『日本人の真価』文春新書、2022
 - 語学ができるほど馬鹿になる?
 - 英語、IT、プレゼンは小手先の技術
- 日本経済の地盤沈下をくいとめるため、事業を転換して成長できる分野に移行する“新陳代謝”政策が必要 … 政策研究大学院大学特別教授大田弘子 「産経新聞」正論 2022.7.29

- 日本は20年以上グローバル化、デジタル化に遅れた。加えるに喫緊の安全保障問題から今強力な国際競争力を身につけ、第5次産業革命をリードして国力回復する必要がある。そのための強固な土台をつくるため、グローバル時代と連動する正統派のグローバル教育を導入することが何よりも必要とされる。
- 渥美育子はリーガルコード文化圏米国に渡り、ハーバードビジネススクールより10年以上早く、グローバルビジネス教育を開発。**DuPont worldwide、IBM、United Technologies** など世界トップクラスの企業のグローバル化を支援。理論と実践で世界に通用するグローバル教育を創り上げた。
- 以上の状況から、日本人の英会話教師、英語教員が正式にグローバル教育を学び、認定講師になり、日本人の子どもたちにグローバル教育を日本語、そして英語でも教えられるようにする**Win-Win**の策を提案する

日本がグローバル化に失敗した4つの理由

1. 冷戦体制崩壊を機に世界がグローバル化し始めた時、日本ではバブルがはじけ、日本人は国内問題にかかりきりになり、視点の大転換が必要な新しい時代が到来しつつあることに全く気づかなかった
2. 敗戦の負の遺産で“国体”“国益”と言う普通の国が持つ価値観が希薄になり、新しい時代に新しい“国家戦略”をたてることができなかつた
3. 米国による日本の“経済力つぶし”の戦略が見事に功を奏した
4. 儒教文化圏にある日本は、中国、韓国、台湾地区とともに、“天”“Big Picture”を重視する国民性や文化を身につけていると思われていたが、その教育は地に足がついていなかった（あるいは敗戦とともに希薄になった）

オリジナル グローバル教育の内容

グローバル化失敗の理由を全部解消し、かつ新しいグローバル時代の世界を構築する教育を創造することを目標とした

1. 世界が原則一つになるという21世紀のグローバルIT時代の特徴をよく理解し、時代と連動して、時代を生き抜くために必要な能力を身につける教育
2. 個人がミクロ(=自国)、マクロ(=地球全体)、メタ(=超越)の重層的視点をもち、肉眼で見えない地球の裏側も“心の眼”や情報分析で読み取り、(自)国と地球全体の管理の両方を重要視する教育
3. 自由主義と全体主義の対立など、政治イデオロギーや制度の違いが人類を滅亡させかねない核戦争の危機を生んでいる国際情勢を理解し、軌道修正しうる“統合知”あるいは“超限教育”を追求

ライセンス

- 対象: ①英会話学校の経営者
②教師にライセンシーになってくださる講師のご紹介
- ライセンスプログラム:
 - ① <文化の世界地図>TMとナビゲータTM
=世界はどういう価値観から成り立っているか? 多様な人々とのコミュニケーション、交渉術を学べる、ビジネスディールに必須のオリジナルツール
 - ② <世界共通教育・7つの動画>TM=侵略・戦争を減らすために世界の義務教育で共通に学ぶべき“人間”と“地球”についての知恵
 - ③ <地球村への10のステップ>TM=人類が5000年の間にやってきたことをハイライト体験、そこからヒントを得て、現在の危機に立ち向かうスケールの大きいアクティブラーニング
- コース期間(ライセンシーになる教師が認定を受けるために3つのプログラムを学ぶ期間):3ヶ月

ライセンスング ～続き

- ご提供するもの:研修、教材、免許
- パッケージライセンスングフィー:60万円(+税)
内訳①グローバル教育原論
②<文化の世界地図>™ 10万円
③<世界共通教育>™ 20万円
④<地球村への10のステップ>™ 30万円
- 経営者がライセンサーを紹介してくださる場合は、ライセンスングフィーの15～30%をコミッションとしてお支払いする
- ポテンシャルビジネス:英会話学校として、日本語でも英語でも教えられる。個人教授、グループレッスン、学校への導入などのフィーは自由に設定できる。利益がある場合10%のライセンス料

日本人英語教師がグローバル教育の認定 講師になるメリット

- 1) 自分の世界がミクロ、マクロ、メタとスケールの的に最大となり、思想的に深化する。自分自身がグローバル人財になる
- 2) グローバル教育プログラムを英語で教えることができるので、ビジネスチャンスが増える
- 3) 日本の国際競争力を高めるのに、貢献できる

参考資料

- 渥美育子のプロフィール

“タイム誌”で紹介されたグローバル教育の第一人者。また“**Forbes誌**”では、**SDGs**などの先駆者として評価される。

名古屋生まれ。青山学院大学助教授からハーバード大学の研究員へ。1983年ボストン郊外のRt.128ハイテク地帯で、21世紀型の研修会社を起業。ハーバードビジネススクールより10年早くグローバル教育というジャンルを米国で創始した。DuPont、IBM、United Technologies Corp.、Honda R&D of North Americaなどを顧客とする。

2001年米国同時多発テロに遭遇し、世界の子どもにグローバル教育が必要だと痛感。2007年帰国、企業・学校をとおして日本のグローバル化に尽力している。著書に『世界で戦える人材の条件』(PHP) 『文化の世界地図』(世界地図社)など

- (株)グローバル教育について

渥美育子が2010年日本で設立したグローバル教育専門の研修会社。主として企業、個人の教育を担当。教育機関への導入や認定講師の養成は補完的に(一社)グローバル教育研究所が行う。

両社あわせて次の分野を扱う。

- 1) 家庭でできる子ども時代からのグローバル教育
- 2) 世界目線と言語技術を身につけると正義が爆発する
ローティーンのためのグローバル教育
- 3) 企業のための世界市場理解と戦略
- 4) グローバルアイ(世界倫理)、世界目線3段、世界共通教育などグローバル教育の中核理論と実践。

コンタクト先

名称：(株)グローバル教育

住所：〒106-0047 東京都港区南麻布4-5-48 フォーサイト南麻布4F

TEL：050-6865-5922(メッセージを受付ます) TEL/FAX：03-6661-3836

E-mail：info@global-kyoiku.net

HP：globaljinzai.jp、globaleducationjp.com

代表：渥美育子